

令和 7年度

事務事業評価表 (令和 6年度 の実績評価)

記入年月日
令和 7 年 4 月 18 日

事務事業名		くらしの会助成事業				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続	継続	事務事業No.	030203000699
		総合計画の施策名				単独/補助	単独	所属課	030301 生活環境課
政策体系	政策名	03	安全安心な暮らしのまちづくり					課長名	
	施策名	02	防犯・消費生活対策の推進					グループ	市民活動・交通安全
	手段名	03	③消費生活対策の推進					担当者名	
			財務会計上の位置付け				事業期間		
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	07	01	03	01	00	消費者行政事業		
法令根拠	桜川市くらしの会補助金交付要綱						単年度繰返し (平成29年度~)		
							☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入		

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要

手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
	<p>【事務事業の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 消費者問題や環境問題、ボランティア活動を中心に行っている「桜川市くらしの会」に補助金を交付し、活動を支援する。 <p>【事業費の内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> くらしの会補助金 100,000円 (平成29年度より) 	<ul style="list-style-type: none"> 補助金交付等事務 総会、役員会、研修会等の資料作成及び参加 おもしろ講座、各種事業の準備及び開催

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
<ul style="list-style-type: none"> 補助金の交付 総会、役員会、研修会等の資料作成及び参加 おもしろ講座、SAKURAフェスティバル等、各種事業の準備及び開催 	役員会実施回数	回	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00	
	活動及び研修会実施回数	回	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	
市民及びくらしの会会員	人口	人	36,794.00	36,120.00	35,356.00	34,734.00	34,112.00	
	会員数	人	56.00	58.00	60.00	62.00	64.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	
くらしの会の活動に興味を持ち、加入し活動するとともに、研修会等に進んで参加し、消費者問題への知識を高める。	活動及び研修会等参加人数(延人数)	人	350.00	350.00	350.00	350.00	350.00	
	新会員数	人	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費	財源内訳	千円	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	期間限定総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
		国庫支出金	千円	0	0	0			
		県支出金	千円	0	0	0			
		地方債	千円	0	0	0			
		使用料・手数料	千円	0	0	0			
		その他	千円	0	0	0			
		一般財源	千円	100	100	100			
		事業費計 (A)	千円	100	100	100			
		正規職員従事人数	人	4.00人	4.00人	4.00人			

事業費の内訳	06年度事業費 実績 (千円)		07年度事業費 予算 (千円)		
	18 負担金補助及び交付金	100			
		合計	100	合計	100

(4) 当該年度の実施内容

※年度ごとに事業内容を記入する	07年度の事業内容	08年度の事業内容	09年度の事業内容
	消費者団体の活動支援	消費者団体の活動支援	消費者団体の活動支援

事務事業名	くらしの会助成事業	事務事業No.	30203000699	所属課	生活環境課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 消費者の生活安定向上を目的とし、昭和53年から活動を開始した。消費生活を取り巻く状況は、著しく変化しており、様々な問題が発生している。問題を効率的に解決していくためには、主体的・合理的に行動することが必要であり、それが可能になるよう支援していくことが重要である。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 真壁くらしの会が始まりであり、合併に伴い「桜川市くらしの会」となった。会員の多くが真壁地区であり、岩瀬地区・大和地区の会員を徐々に増やすことが望ましいとの意見がある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 様々な知識を習得し情報提供していることで、市民生活の安全安心に過ごせるまちづくりに結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 桜川市くらしの会を支援することで、市民に情報の周知ができ、安全安心に繋がる。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 活動の充実を図るため、会員数を増やし活動を活発にすることで成果が向上する。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市民の消費生活安定向上のためにも廃止・休止することで、市外で活動している団体との情報収集の手段が途絶えてしまう。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 市内には消費者団体が桜川市くらしの会1団体のため、統廃合は無理である。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 事業費については活発に活動していることから削減は難しい。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 会員が得た情報や知識を市民に提供していることから、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 自主活動で活動しており、SAKURAフェスティバル、ひな祭りなどイベントに参加し、作成したアクリルたわし、ホウ酸団子などを配布し、消費者や環境問題の啓発を行っている。また、視察研修などで最新の情報を取り入れ日常生活に活用している。事業への参加者は増えているが、会員の減少がみられるため勧誘活動も積極的に行う必要がある。																						
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下			×																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 真壁地区の会員が多いため、大和・岩瀬地区への広報活動。		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑧																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
---	--